

明石市第 6 次障害者計画策定に係る 関係団体調査結果報告書

目次

1	調査の概要.....	1
	(1) 調査の趣旨.....	1
	(2) ご協力いただいた団体一覧.....	1
	(3) 調査方法及び調査期間.....	1
2	各分野についてのご意見.....	2
	(1) 障害のある人への理解の促進、差別の解消、権利擁護の推進.....	2
	(2) 生活環境.....	2
	(3) 安全・安心.....	3
	(4) 文化芸術・スポーツなど.....	3
	(5) 療育・保育・教育.....	4
	(6) 雇用・就労・経済的自立への支援.....	5
	(7) 保健・医療.....	6
	(8) 情報・コミュニケーション.....	6
	(9) 行政サービスにおける配慮.....	7
	(10) 障害福祉サービス等の現状や課題.....	7

令和 5 年 8 月

明 石 市

1 調査の概要

(1) 調査の趣旨

障害のある人の関係団体や支援機関に対して、明石市の現状や課題、今後の意向を把握し、明石市の障害福祉のニーズや課題を整理することを目的として実施しました。

(2) ご協力いただいた団体一覧

本調査の実施にあたっては、以下の団体の皆様にご協力いただきました。

○明石市身体障害者福祉協会	○明石市視覚障害者福祉協会
○明石ろうあ協会	○明石市肢体不自由児者父母の会
○明石地区手をつなぐ育成会	○明石ともしび会
○明石ピアポの会	○明石難聴者の会
○明石障がい者地域生活ケアネットワーク	○明石市ボランティア連絡会
○兵庫県立いなみ野特別支援学校	○明石市立明石養護学校
○明石市社会福祉協議会	○明石市基幹相談支援センター兼障害者虐待防止センター

(3) 調査方法及び調査期間

本調査は、記入式の調査票による回答及び面談による聞き取り調査を実施しました。調査期間につきましては下表のとおりです。

	実施内容	期間
調査票の配布・回収	対象となる団体に対して記入式の調査票を配布しました。	令和5年5月31日～ 令和5年6月14日
面談調査の実施	面談を希望する団体に対して、事前に記入した調査票をもとに面談での聞き取りを行いました。	令和5年7月3日～ 令和5年7月11日

2 各分野についてのご意見

(1) 障害のある人への理解の促進、差別の解消、権利擁護の推進

◆主なご意見

理解促進・差別解消 について	<ul style="list-style-type: none">●理解促進には、小さいころからの学校等におけるインクルーシブ教育が重要と考える。●医療的ケア、視覚障害者、聴覚障害者については、地域の人々にも関わってもらい、より一層の周知が必要。●知的障害に対する理解はまだ足りないと考えられる。●障害のある人の自治会活動への参加が少ないと感じる。地域の防災訓練にも参加しないことが多い。地域社会に参加できる雰囲気づくりが必要と考える。●B-1のボランティアのように、障害がある人とない人がお互いを知る機会があれば、理解促進が進むのではないかと考える。
権利擁護について	<ul style="list-style-type: none">●親亡き後、金銭管理等を行う成年後見制度、日常生活自立支援事業による支援を必要とする事案が増加している。

(2) 生活環境

◆主なご意見

バリアフリー環境 について	<ul style="list-style-type: none">●施設の安全点検等は、同じ人が行うことが多い。同じ価値観で点検することになるため、様々な当事者を交えて違った目線で行っていただきたい。●JRや山陽電車も順番にバリアフリー化され、環境がよくなっている印象である。●公共交通機関で事故が起きた時の遅延情報等が音声アナウンスのみで把握できないことがある。●市営住宅については、バリアフリー化が進んでいない。重度障害者でも一人で住むことができる環境が必要。●住宅のバリアフリー化の改修費助成は、一律ではなく、障害特性に応じた対応を検討してほしい。
交通手段について	<ul style="list-style-type: none">●移動手段の確保のため、バス路線の維持やサービス水準の向上に取り組んでいただきたい。

(3) 安全・安心

◆主なご意見

避難行動・避難所 について	<ul style="list-style-type: none">● 藤江地区で実施された全ての障害者・高齢者等が参加する防災訓練は大変良かった。他の地域でもぜひ実施していただきたい。● 相談支援専門員による「防災と福祉の連携による個別避難計画作成」をさらに進めるべきであるが、報酬が低く、着手しにくい状況である。● 発災時には、まず地域の避難所に避難し、その後、福祉避難所に行くという流れを知ってもらう必要がある。会員にも周知していきたい。● 地域の避難所で過ごすことが困難であることが明確であるよう要配慮者については、事前に調整し、福祉避難所に直接避難できるようにしていただきたい。● 災害時の情報について、視覚障害者は耳からの情報、聴覚障害は目からの情報が必要である。当事者に配慮した情報発信をお願いしたい。
------------------	--

(4) 文化芸術・スポーツなど

◆主なご意見

イベントの周知等 について	<ul style="list-style-type: none">● アートシップは各事業所の中で定着してきている。引き続き実施していただきたい。● スポーツの分野は、参加者が一部に人に偏っている。広報の場を増やしていく必要がある。● 総合福祉センターで実施している地域活動支援センターの広報に力を入れていただきたい。● 総合福祉センターで実施されたユニバーサルスポーツ交流会は、だれもが楽しめるように工夫されており、とても良かったと思っている。今後も継続して実施して欲しい。
------------------	--

(5) 療育・保育・教育

◆主なご意見

<p>支援機関等の連携 について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●兵庫県の医療的ケア児支援センターは、明石市から遠く、実際の支援に関する情報提供は市の窓口で聞くことになることが想定される。明石市の窓口で完結できるような体制構築をお願いしたい。 ●保育所、幼稚園、学校、事業所の連携を充実させる必要がある。
<p>人材の確保・育成 について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●放課後等デイサービスの事業所数が増えていて助かっているが、それに伴い職員の質の低下も指摘されている。 ●障害の専門性を持った教員の養成が必要である。外部からや退職した人の登用なども検討してはどうか。
<p>受入先の確保について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●民間の保育所では、障害児が受け入れできないことが多い。 ●いなみ野特別支援学校における明石市民の割合が上昇している。明石養護学校に送迎車両が導入されるため今後の動向に注視しながら受け皿の確保を考えていただきたい。
<p>交流・学習等について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●小学校4年生を対象とした福祉学習に参加する機会があるが、生徒自らが企画して交流会を実施してくれた小学校があった。今後もぜひ継続して実施していただきたい。 ●福祉学習に是非、知的、精神も含めていただきたい。 ●補聴器や人口内耳の性能は良くなっているが、健常者と同じように聞こえるわけではない。手話による言語取得も必要である。 ●明石養護学校に送迎車両が導入されるのは、大変喜ばしいことだが、一方で保護者と先生が顔を合わす機会が減ることや、保護者間での交流も減ることが予想される。そういった点を補完できる場の提供があると良い。
<p>情報提供について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●今後どのような手続き、サービスがあるのかを知るため、ライフステージに合わせた保護者への情報提供が必要である。 ●障害のある子どもを迎えた家族は大きな不安を抱えている。療育の基本的な考え方をはじめ、障害のある子どもを支える施策・サービス、障害児通所支援事業所に関する詳細な情報のデータベースが必要と考える。

(6) 雇用・就労・経済的自立への支援

◆主なご意見

就労支援について	<ul style="list-style-type: none">● 重度障害者への就労支援事業を実施していただきたい。● 知的障害者の雇用を促進していただきたい。対象者の特性により業務内容の精査が必要である。● 障害のある方の雇用は健常者に比べ厳しい状況である。障害者のスキルアップも必要である。国・県・市において、障害者向けの職業訓練所等の整備・充実をお願いしたい。● 現在は明石養護学校でも iPad の貸し出しもあり、視線入力機能もできる。重度障害者がパソコン等を使ってテレワークを行っている事例もある。日常生活用用具としてではなく、就労のためのスキルアップのためにこのような機器を活用できるよう支援があれば良いと思う。● 医療的ケアが必要な生徒の卒業後の進路が限られている現状がある。生活介護等の事業所が少ない。
収入について	<ul style="list-style-type: none">● 障害基礎年金と工賃では生活は厳しい。工賃を上げていく取組を全市的に進めていく必要がある。

(7) 保健・医療

◆主なご意見

医療提供体制 について	<ul style="list-style-type: none">●ユニバーサル歯科診療所は非常に助かっている。一方で、人気がありすぎて予約が取れない状況である。人員配置の見直しを検討いただきたい。●歯科以外の診療科についても、ユニバーサル歯科診療所のような施設又は環境を整備いただきたい。●医療的ケアが必要な児童生徒の主治医はほとんどが市外の病院である。市内の医療機関でも対応できるようお願いしたい。
医療機関における配慮 について	<ul style="list-style-type: none">●市民病院での新型コロナワクチン接種も非常にありがたかった。●各医療機関にも障害者をサポートする体制をお願いしたい。医療関係者に障害を理解してもらう機会を設けてはどうか。●行動障害等のある方は受診が難しい場合もあるが、適切な医療が受けられることができるよう理解をいただきたい。
その他	<ul style="list-style-type: none">●訪問リハビリを利用したいが、なかなか利用できない。短い時間であってもよいので、更なる充実をお願いしたい。●重度障害者が通うリハビリ施設は、県立リハビリテーション中央病院やゆりかご園であるが、18歳又は22歳になると訪問リハビリに移行している。訓練を受ける機会が減っているため、継続して訓練が受けられる体制が必要である。

(8) 情報・コミュニケーション

◆主なご意見

情報機器等の利用 について	<ul style="list-style-type: none">●コミュニケーション機器等の活用は重要であるが、はじめに支援がないと利用できない方もいる。スマホ教室などのデジタルサポートをお願いしたい。●音声コード（ユニボイス）について、年金の通知には印字されるようになっている。市の封筒等にも印字していただきたい。●障害当事者もアプリ等のツールを知らない人もまだまだ多いため、我々も認知度を上げていなければならぬ。●福祉機器は、常に最新のものが開発されている。最新情報を発信する仕組みが必要である。
------------------	---

(9) 行政サービスにおける配慮

◆主なご意見

職員・庁舎について	<ul style="list-style-type: none"> ● 支援学級における教師や補助員の増員と質の向上が必要である。 ● 市役所新庁舎は、障害当事者等の意見を聞いていただき、障害者に配慮した設計をお願いしたい。
-----------	---

(10) 障害福祉サービス等の現状や課題

◆主なご意見

制度について	<ul style="list-style-type: none"> ● 65 歳以上は介護保険が適用されるが、それまでの障害福祉サービスと差が生じることがある。国の制度かもしれないが、見直しをお願いしたい。 ● 障害者施策には予算が必要であることは認識している。必要なところに、必要なサービスを提供できるよう考えていただきたい。
人材の確保・育成について	<ul style="list-style-type: none"> ● 専門相談支援員は、身近に相談ができ、緊急の時に家族に代わって施設との橋渡しをしていただける非常に心強い存在ですので、人員確保をぜひお願いしたい。 ● 福祉分野の人材がいない。特に居宅系のヘルパーの人材確保は困難を極める。 ● 重度訪問介護等を行うための研修費用は高額である。人の入れ替わりが激しい職種でもあり、事業所は負担しにくい。 ● 重度の人を支援できる人材の確保が重要である。他市においても重度障害者就労支援制度のニーズはあるものの、人材がいないため利用できない状況であると聞いている。
サービスの提供体制について	<ul style="list-style-type: none"> ● 重症心身障害者、医療的ケアが必要な方を受け入れる施設が少ない。看護師の配置が難しく、設備面でも経費がかかる。利用者が安定して利用できないという課題もある。少しずつでも受入可能な施設が増えることを望む。 ● グループホームは増えてきてはいるが、障害が重度の場合は受け入れしない事業所もある。行き場がなくなってしまう。 ● 聴覚障害の高齢者が安心して利用できる施設が市内にはない。 ● 学校を卒業し、事業所に通うことになると、15 時くらいまでしか利用できないため、保護者は仕事の調整を強いられる。15 時～19 時くらいまでのデイサービス等が必要と考える。